

【資料2】

# 多面的機能支援事業について

埼玉県農林部

農村整備課

## 制度の背景

- 多面的機能とは：農業・農村の持続により生じる県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観形成など農産物供給以外の機能
- 背景：農家の高齢化や農村地域の過疎化、混住化などによる集落機能の低下

⇒①多面的機能の維持・発揮に支障

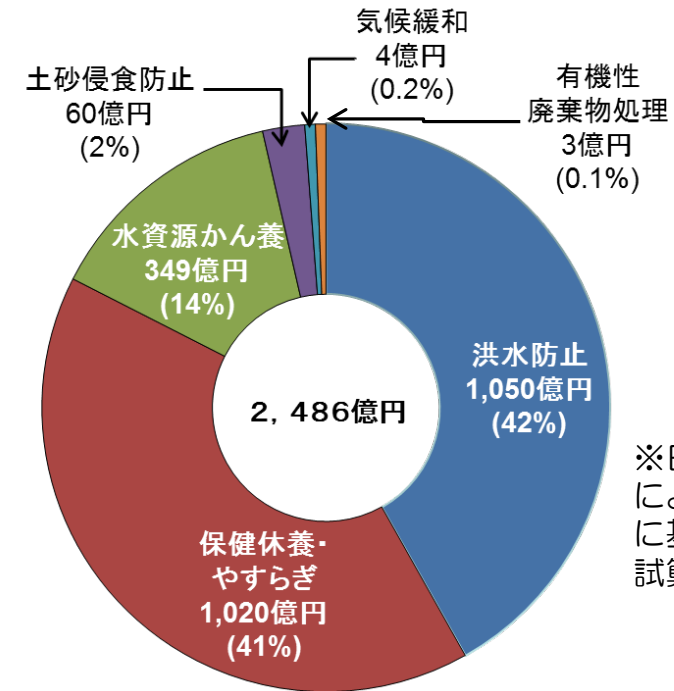
②農用地、水路、農道等の保全管理に対する担い手農家の負担増加の懸念



## 多面的機能支援事業による支援

平成19年度に【農地・水・環境保全向上対策】が創設され、その後平成26年度に【多面的機能支援事業】として支援を拡充。

○ 本県の農業・農村の有する多面的機能評価額



※日本学術会議答申による三菱総研調べに基づき農業政策課試算 (H13)

# 多面的機能支援事業の概要

## 1 農地維持支払

### ○ 多面的機能を支える基礎的な保全活動



水路の草刈り



水路の泥上げ



水路の点検

地目	基本単価
田	3,000円/10a
畑	2,000円/10a
草地	250円/10a

※ 負担割合  
国：県：市町村  
=50%：25%：25%

## 2 資源向上支払

### (1) 共同活動

#### ○ 地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動



軽微な補修



景観形成

地目	基本単価
田	2,400円/10a
畑	1,440円/10a
草地	240円/10a

※取組年数や活動項目により単価が減となる場合あり

### (2) 長寿命化

#### ○ 施設の長寿命化のための活動



水路の更新



農道の補修

地目	上限単価
田	4,400円/10a
畑	2,000円/10a
草地	400円/10a

# 活動の手順

## I 組織の設立



対象地域の設定、構成員の取りまとめ、規約及び事業計画書等の作成をします。

## II 事業計画の認定



事業計画書を市町村へ提出し、市町村長から事業計画の認定を受けます。

## III 交付金の申請



事業計画認定後に、当該年度の活動に必要な交付金の申請をします。  
市町村長から交付決定の通知があり、交付金が支払われます。

## IV 活動の実施及び報告

実施計画に基づいた保全活動を実施し、作業の内容や金銭の収支等について記録します。  
当該年度の活動記録を取りまとめて、実施状況報告書を作成し市町村長へ提出します。

# 令和元年度実施状況①

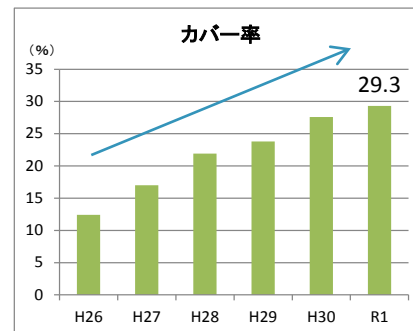
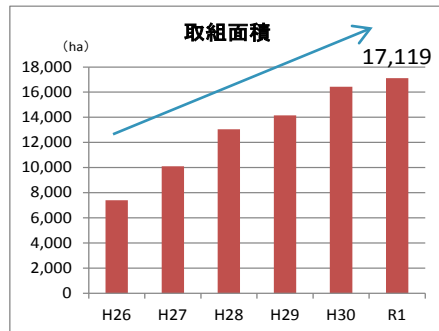
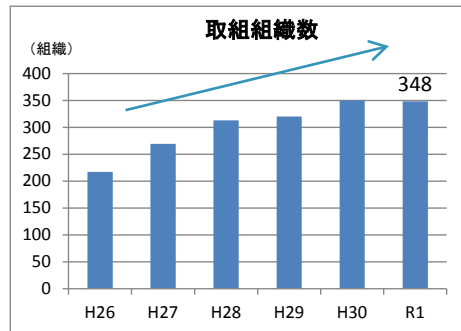
## (1) 農地維持支払 ア 見込み

- 取組市町村： 47市町村、取組組織： 348組織、取組面積： 17,119ha、カバー率： 29.3%
- 平成26年度からの取組面積： 2.3倍に増加

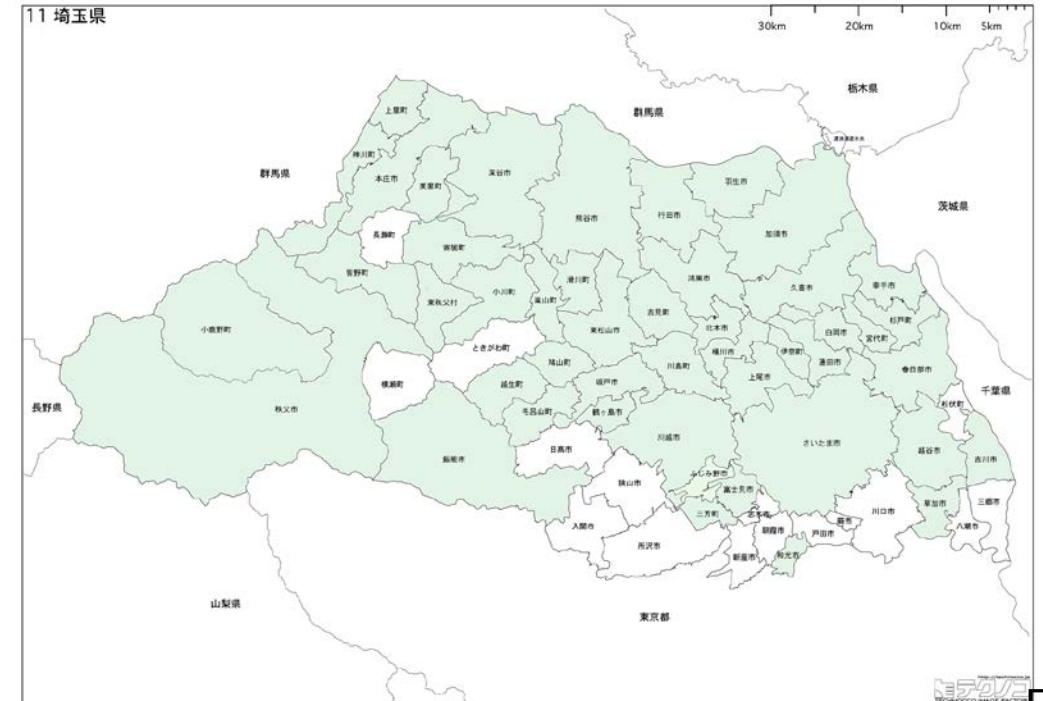
※カバー率：農振農用地（田畑）に対する取組実施面積

市町村数・取組組織数・取組面積・カバー率の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市町村数	36	42	44	46	47	47
取組組織数	217	269	313	320	350	348
取組面積(ha)	7,398	10,098	13,041	14,153	16,427	17,119
カバー率(%)	12.4	17.0	21.9	23.8	27.6	29.3



## 令和元年度事業実施市町村





# 令和元年度実施状況②

## (2) 資源向上支払（共同活動）

### ア 見込み

- 取組市町村：38市町村、取組組織：213組織、取組面積：8,531ha
- 農地維持支払に対する割合：取組組織 約6割、取組面積 約5割

市町村数・取組組織数・取組面積の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市町村数	36	35	36	37	37	38
取組組織数	184	193	210	206	215	213
取組面積(ha)	6,350	6,675	7,548	7,533	7,856	8,531



農道の補修



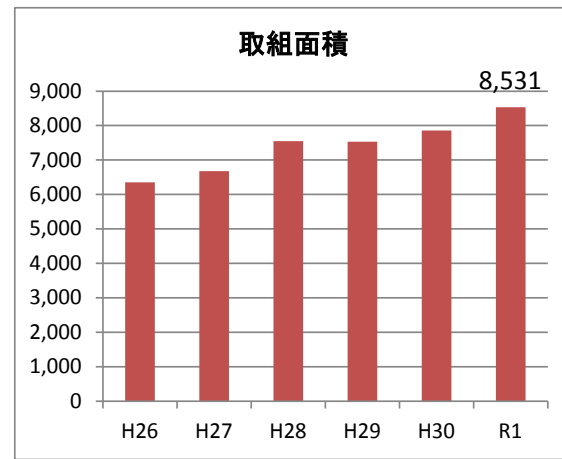
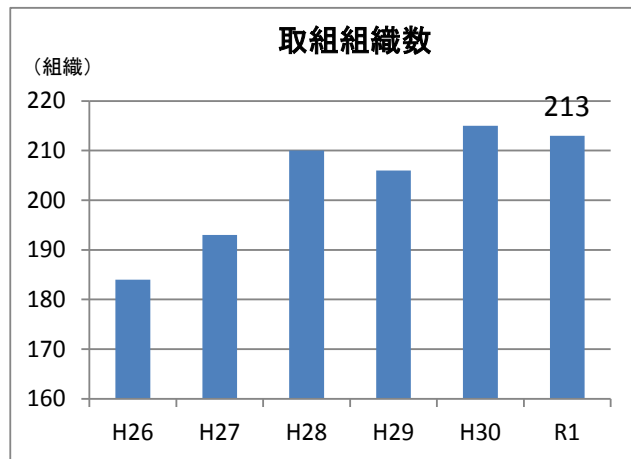
小学生の農業体験



生き物調査



植栽活動



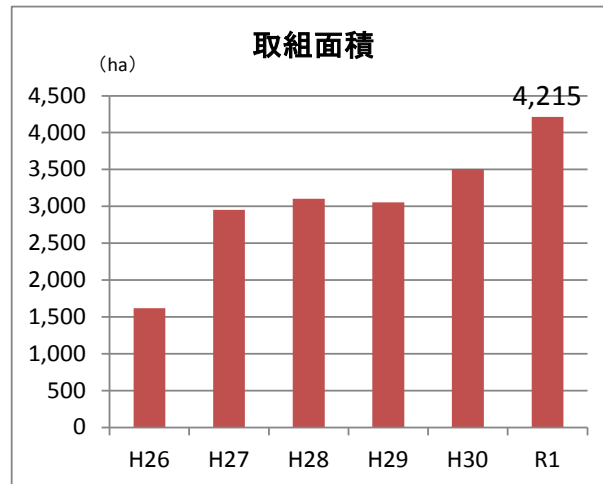
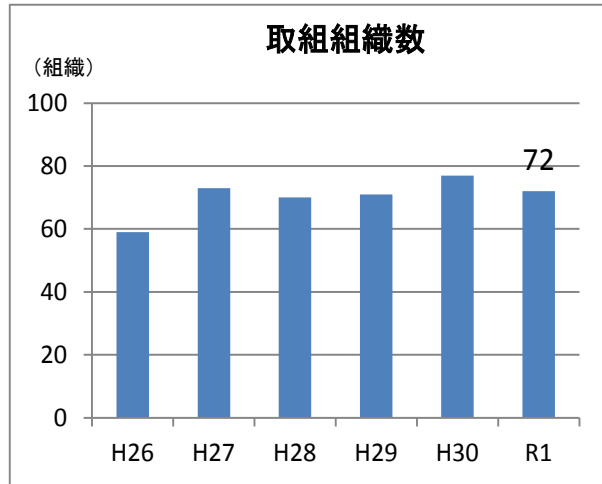
# 令和元年度実施状況③

## (3) 資源向上支払（長寿命化）

- 取組市町村：19市町、取組組織：72組織、取組面積：4,215ha
- 農地維持支払に対する割合：取組組織 **約2割**、取組面積 **約2割**

市町村数・取組組織数・取組面積の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市町村数	18	18	18	17	17	19
取組組織数	59	72	70	71	77	72
取組面積(ha)	1,616	2,954	3,103	3,055	3,504	4,215



水路の整備  
(施工中)



水路の整備  
(完成)

# 令和2年度実施計画（案）

## 1 推進方針

### （1）他施策と連携した推進

- ・ほ場整備事業や農地中間管理事業等の他施策と連携し推進する。

### （2）研修会の実施

- ・講演会及び優良事例地区視察研修を実施する。

### （3）農業者への周知徹底

- ・土地改良区や水利組合の総会等において、事業制度を周知・推進する。
- ・市町村や地域機関の窓口に事業のパンフレット等を置き周知を図る。

### （4）広域組織の推進

- ・人材不足、資金不足等の組織においては、広域化することで人材確保や資材の一括購入等、活動の効率化を図る。

### （5）事例の紹介

- ・ホームページに活動事例を掲載し、継続活動組織や新規検討している団体への支援・PRを行う。
- ・県内の優良事例組織を表彰する。 ※参考 推進会議HP：<http://www.saidoren.or.jp/noutimizu/>

## 2 令和2年度実施目標

（1）農地維持活動面積：22,000ha、カバー率 37% ※埼玉農林業・農山村振興ビジョン目標

（2）資源向上（共同）の活動面積：9,600ha

（3）資源向上（長寿命化）の活動面積：4,700ha